

local paper

川尻小学校区の魅力をお伝えする情報誌

2020年12月発行 vol.7

発行者 川尻小学校区ふるさと交流実行委員会

高 殿 上 君 知 る や

vol.7

たかてんじょう

きみしるや

いぬさわし

川尻小学校区
ふるさと交流実行委員会
事務局 山本 幸男

皆さんこんにちは。

今年の冬は記録的な暖冬でヤレヤレと思っていたとたん三月初め頃から新型コロナウイルスのため大変な世の中になってしまい、ほとんどの行事、イベントが中止となり、いまだ終息が見えておりません。

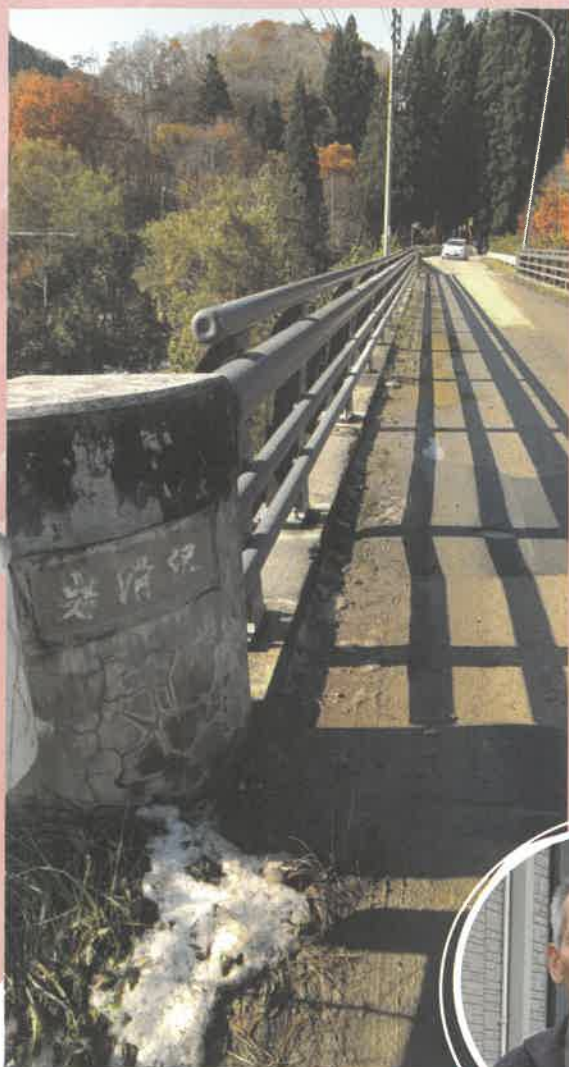
特にも県外にいる方はお盆の帰省はもちろん、家族の不幸にも参列できなかったとか。その他かなりの警戒感と不自由を感じている事と思います。それでもコロナ禍を意識した感染防止対策を徹底して少しずつ地域行事が動いてきました。

今回の情報誌はコロナに負けない各地区の情報に掲載してみました。

今ふるさは冬支度も終わり、十一月四日に初雪も降り、いよいよ冬本番。雪との戦いが始まるな...と思っております。

来年はコロナも終息し、今まで通りの行事やイベントが開催されることを願っております。寒さが厳しくなる折お身体ご自愛ください。





現在の岩滑橋



岩滑橋の架け替え工事

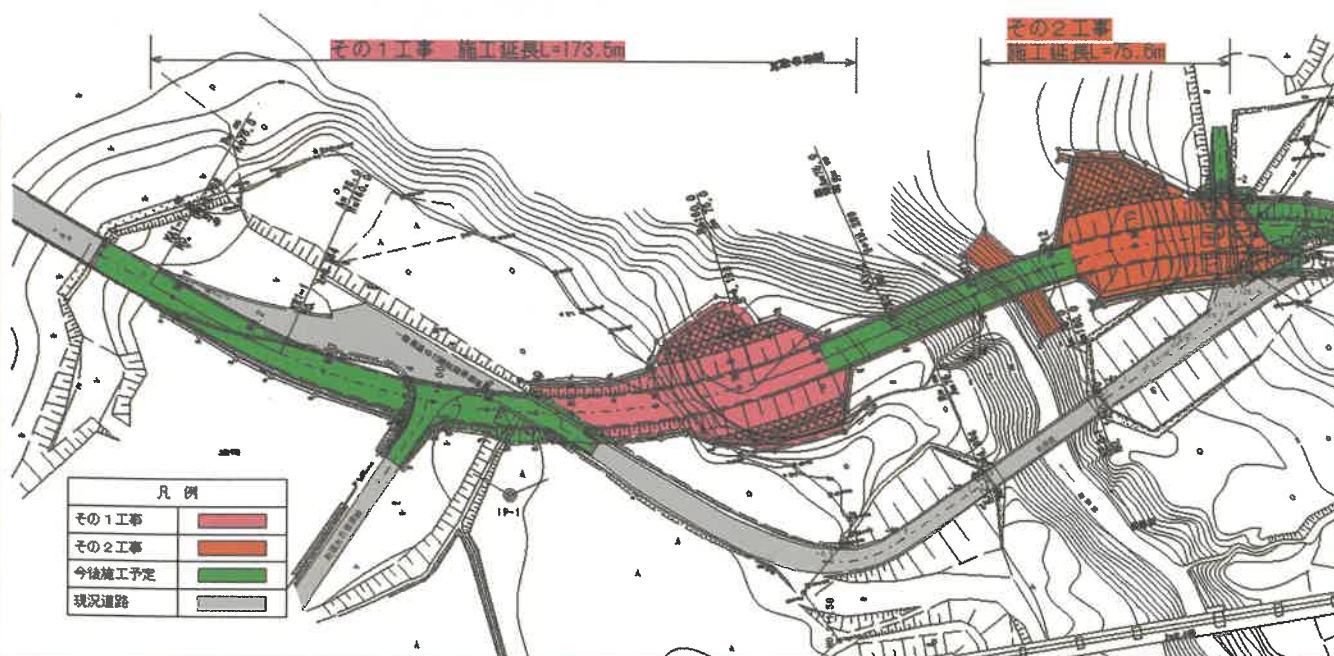
一般県道ゆだ錦秋湖停車場線岩滑橋橋梁工事が、平成30年度から着工されました。地元耳取地区としては、夢の念願でもありました。岩滑橋は昭和34年12月に竣工されております。ちょうど湯田ダム定礎式が行われた時期で、今日まで30年以上多くの皆様に利用されてきました。

地元として、岩滑橋の架け替え工事を強く要望してきましたが、当時天ヶ瀬橋の工事もあり、その後に検討したいということで今日まできたようです。しかし高速道路峠山インターの開通により交通量が増え、急カーブで幅も狭く、冬期間は特に危険であることなどから、早急に県への働きかけを町議会に要望して工事着工に至りました。岩滑橋も、天ヶ瀬橋に負けない素晴らしい橋となることと思います。

完成は令和3年頃と言われておりますが、1日も早い完成を願うとともに、ご協力頂いている関係機関の皆様に厚くお礼を申し上げます。

完成の際にはぜひ、岩滑橋を渡って穴ゆっこや南本内岳などの素晴らしい環境に恵まれた観光地にお出でいただければと思います。
天ヶ瀬区長 照井 満

一般県道ゆだ錦秋湖停車場線耳取地区道路改良工事（R2年度施工） 平面図



2019 年
7 月



2018 年
9 月



2019 年
8 月



橋梁工事については、2018 年から橋台（橋桁を据え付けるための土台）の工事に着手し、2018 年に左岸側、2019 年に右岸側の橋台が完成しました。2020 年には橋台前後区間の盛土工事に着手し、同年 11 月に完成しました。

2020 年
8 月



2020 年
10 月



2020 年
11 月



年次別の工事实施状況

平成 28 年度	県用地買収
平成 29 年度	支障木の伐採、支障電柱の移設 一部道路拡張工事
平成 30 年度	橋梁下部工事（左岸側）
平成 31 年度	橋梁下部工事（右岸側）
令和 2 年度	道路改良（盛土）工事【その1その2】

大根まつり ― 小繋沢地区

小繋沢地区の大根祭りも今年で12年目を迎えました。当初、休耕田や耕作放棄地の増加に対応した新たな土地活用や地域の小規模農家を応援しようという思いの「母ちゃん農業を元気に!」を合言葉に大根栽培に取組んだ一環で大根品評会を開催し、併せて、大根・野菜販売会を実施してきた経緯があります。

大根品評会では、地区内から出品された20セット(3本1セット)から東海林 豊(西和賀農業普及所)さんを委員長とした4名の審査員の厳正なる審査の結果、品質の特に優れた8セットが表彰されました。

また、恒例の大根・野菜販売会も大変盛況で、新鮮で安価な白菜・キャベツなどは販売開始後わずか1時間余りでほとんどが完売するなど嬉しい悲鳴が聞こえました。

この大根祭りも晩秋の恒例行事として地域に定着してきているものの、高齢化等の影響で継続を危ぶむ声も聞かれます。

しかし、人口減少などにより元気が無くなりつつある地域の結束力の維持や地域力を高める意味からも、可能な限り続けて行こうと考えています。

繋ぎの郷づくり委員会事務局 高橋純一



なめこ栽培 — 湯川地区

きのこまつり初の中止

湯川温泉の秋といえば「きのこまつり」。かつての『なめこまつり』から五十年以上も続く、地区を挙げての一大行事。例年、きのこの集荷から会場設営、報道機関などを回つての宣伝活動、後始末を含め二週間を超える期間、地区を挙げてこのイベントに取り組んできた。それが今年はコロナ対応で止む無く中止。毎年きのこまつりを楽しみにしていた多くのお客様には残念な秋になってしまった。



降雪に見舞われた栽培地

今年はマツタケやコウタケなどが何年ぶりの豊作というニュースをよく耳にした。しかし、湯川の、ナメコに限って言えば必ずしも豊作とはならなかった。考えられるのは九月初めの高温と少雨。ナメコの出は温度と湿度に大きく影響される。いつもの年であれば十月中旬から収穫が始まり下旬から十一月初旬がピークとなり、降雪前にはほぼ終了する。

九月初めの高温と少雨がそのまま収穫期を遅らせたことで、今年のピークは十一月中旬となり、さらに降雪で多くのナメコが雪の下になってしまった。現在、七人で栽培にとり組んでいるが、今年の収量は合わせて二百キロほどと、予想の七割に留まる結果に。来年以降も、これを教訓にホダ木を置く場所や植菌の時期などを工夫し、湯川のきのこを盛り上げていきたい。

蓮池を拡張

湯川温泉観光協会が公民館近くの県道沿いに造った蓮池公園でこの秋、拡張工事が行われました。蓮池は近くを通る秀衡街道に因み、平成二十四年四月、中尊寺の古代ハスから株分けしたものを移植。以来少しずつ株も増え、昨年は多くの花を咲かせ地区民や観光客を楽しませてくれました。しかし今年は施肥のかわりに一輪も花を付けなかったことから、



右が従来の蓮池。左の四角い部分が拡張した蓮池

株が混み入っている可能性もあり、移植に向け池を拡張したものです。二〜三年後にはまた見事な古代ハスが咲き誇るよう期待されています。

湯川区長 高橋 達

草刈と敬老会 ― 柳沢地区

柳沢地区ゆかりの皆様、コロナ禍の中如何お過ごしでしょうか？

岩手県は都道府県では最後まで感染者ゼロを更新していましたが、十月から十一月には、相次いでクラスターが発生し、予断を許さない状況になってしまいました。

そのような中ですが、柳沢地区では感染対策を講じながらほとんどの行事を例年通り実施させて頂いております。

今年度の上半期の主な地区行事は、例年二回実施している町道路肩等の草刈環境整備事業や町内でも開催を自粛された地区も多かった敬老会です。皆様も楽しみにしている方が多いのではと当地区では感染対策を講じながら、開催させて頂きました。

ただ例年実施しておりました、お盆の帰省客の方々と地区民の交流の場「ビアガーデンやなぎさわ」だけは、大変残念でしたが開催を見合わせて頂きました。

来年こそは、ワクチンが開発されコロナ禍も収束し盛大に開催できるものと信じ、西和賀町の交付金を受けて簡易テントを一基整備させて頂きました。来年こそは是非ご参加下さい。お待ちしております。

柳沢区長 田村 公一

上から

コロナ禍の中の敬老会 (R2.9.13)

新たに整備されたテント1基

雨の中の草刈作業 (R2.8.9)



柳沢地区郷土史

「ばっぱアのふところ」の紹介

柳沢地区には、平成二十一年に発行した「ばっぱアのふところ」と題した郷土史があります。

題名の由来は、湯田町史の中の、「土地のことばに（中略）『ばっぱアふところ』という言葉がある。『ばっぱアふところ』というのは、冬の大吹雪の時でもここだけは、風が吹き荒れないので、山の動物たちも皆ここに集まって難を避ける、いわばお婆さんのあたたかいふところなのである。」から。まさに柳沢地区にぴったりのことで引用させて頂いたものです。

主な内容は、写真で見る地区の歴史や湯田町史・沢内年代記・沢内風土記等からの関連記事の引用。地区内神社の資料・歴史年表等。A4版全六十二項。

若干残部がありますので、希望者は、田村（☎0197・82・2140）までご連絡下さい。



グラウンドゴルフ 一 川尻地区

私の子供のころは家の中で遊ん

で(騒いで)いると「やがましい!

おんにゃ(庭)であそべ!」と

怒られたものでした。当時はど

この家にも庭があつて、〇〇ちゃ

んの庭では缶蹴り、かくれんぼ、△

△ちゃんの家では、丸はね、ゴムつ跳び、

□□ちゃんの家では陣取り、くぎさし、ばったつ

ぎ:等々、遊び場所には苦労は無かった。

「かでろ! (仲間に入れて)」、「かだれ! (入っ

て)」で仲間入りが出来た。今は遊べる庭が見当

たらないなあと思つていたら、旧川尻小学校校庭

でグラウンドゴルフをしている友人がいた。「か

だれ」の一声で仲間入り。道具を手作りしてセッ

ティングにはびっくり! やがて二区老人クラブで

コースと道具を設置。道具を持ち歩かなくても遊

べるようになった。

草がのび、球が転がらなくなれば草刈機械を

持つてきて草刈り、「あやよ! 5打目に、ごだ

ごだだ!」等笑いながら遊んでいると、この校庭

には色々な人が来るのに気づいた。散歩している

人、犬の散歩をする人、かけっこしている保育園



の子、キャッチボールをしている人等々。
「かでろ!」「かだれ!」のこの校庭で、
旧小学校区の人達が集まりグラウンドゴル
フの交流会ができたらしいなあ。

川尻二区長 藤田 陽子



90歳の小松さん 二打で決める (右から二番目)



川尻ネビラキカフェ

瀬川さん^{しかり}然さん(29歳・西和賀町^{まつと}廻戸出身)と瑛子^{まこと}さん(36歳・東京出身)のご夫婦は、今年7月に自分たちやDIYが得意な仲間たちと共に自宅を改修しネビラキカフェをオープンさせました。もともと、西和賀の魅力を伝えるためのネーチャーツアーや、仲間づくりの拠点となる場所を作りたいだったため、カフェを作ったのだそう。手作り感のある暖かさが伝わる可愛いお店です。

このカフェの一番のポイントは、錦秋湖が一望できるテラス席！四季折々の風景や朝夕でも全然違う風景を織りなしてくれる最高のビューポイント。癒されること間違いなし。ぜひ、自分の目で確かめて来てください。ただ残念なことに今期の営業は終了…。オープンは来年の春になります。SNSでご確認下さい。

瀬川夫婦の今後の夢は、ゲストハウスの実現。「一



日だけでは発見できない、何日か連泊して初めて目にする自然の様を感じてもらいたい。西和賀の自然の魅力を発信して、西和賀ファンを増やして、町を訪れてもらう。色々な条件が合わないと見られない自然の一瞬のきらめきを見てもらいたい。」と語ってくれました。常にここでの面白いことを模索している二人から目が離せません！

〒029-5512 西和賀町川尻 40-57-8

電話：080-6023-8181

Email：nebiraki0301@gmail.com

<https://www.nebiraki.world/>

せせらぎの宿 吉野屋



昭和62年生まれ、北上の高校を卒業後、盛岡調理師専門学校に入学。卒業後は仙台、盛岡にて就職し7年前に結婚、3人の女の子のママ。

高鷹 有香さん

6年前、長女が生まれたことを機に旅館の5代目、若女将として先代からの家業、100年続く湯川温泉旅館「吉野屋」を継ぐために家族と共に帰郷した高鷹有香さん。祖母、父、母、自分たち家族、妹家族、計10人の大家族で旅館を切り盛りしながら焼き菓子作りと忙しい毎日を送っている。もともとお菓子

作りが趣味だった有香さん、旅館にいらしたお客様のためにデザートとして出していた。その延長線上に現在の焼き菓子、「マフィン、スコーン、シフォンケーキ」を作るようになった。

当初の予定では、旅館の中に小さいカフェを作りたいと準備を進めていたのだそう。しかし、コロナの影響で旅館のお客様が全然来られない中、インスタグラムでの焼き菓子のテイクアウトを始めた。反響があり、発送もしている。カフェをやりたいだったが、子育てしながら時間を有効的に使えるテイクアウトの方が向いていると考える。

ゆくゆくは、テイクアウトもティータイムも楽しめる、ログハウスのような小さいカフェを旅館の隣に作りたくて夢は膨らむ。西和賀の四季に癒され、有香さんの美味しい焼き菓子に癒されにぜひ、湯川温泉においでください。事前にご確認をしてからおいでください。(作っていない時もあります)

せせらぎの宿 吉野屋

〒029-5514 西和賀町湯川 52-113-1

電話：0197-82-2204

編集後記

「高殿上 君知るや」第7号はいかがでしたか。今年は、5月最終土日に開催される「湖水まつり」「錦秋湖マラソン」を皮切りに、各地の盆踊り大会、敬老祝賀会等の、行事やイベントが中止に追い込まれてしまいましたが、規模を収縮して開催した様子を掲載しました。来年はコロナが終息してイベントが開催されることを願っております。県内の感染者が拡大している状況を考慮して来年2月に予定していた「雪あかり2021 in にしわが」も中止になりました。

川尻小学校区ふるさと交流実行委員会 委員長 高橋 純

発行者 川尻小学校区ふるさと交流実行委員会

連絡先 西和賀町ふるさと振興課 岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-71 tel 0197-82-2111